

令和 2 年 度

事業報告書及び附属明細書

社 会 福 祉 法 人

加 美 町 社 会 福 祉 協 議 会

令和2年度事業報告書

(期間:令和2年4月1日～令和3年3月31日)

社会福祉法人 加美町社会福祉協議会

本会運営に関する事業(法人運営事業)

1. 本会運営に関する事業

- (1) 理事会(6回)
- (2) 監事会(2回)
- (3) 評議員会(4回)
- (4) 職員会議(月1回定例開催)

2. 共同募金運動

3. 各福祉団体への協力、支援

4. その他の大会、会議等への参加、協力等

みんながわかりあうまちづくり(情報・地域課題を共有しよう)

5. 地域住民の福祉ニーズの把握

- (1) 民生委員児童委員との連携強化
- (2) 第2次地域福祉活動計画の評価・検討

6. 地域福祉に関する総合的な情報提供(広報活動の充実)

- (1) 社協だよりの発行
- (2) ホームページ活用による情報発信
- (3) 行政広報誌への掲載等

共に支えあうまちづくり(地域福祉を推進しよう)

7. 基幹的福祉サービス基盤の充実

- (1) 高齢者等生活支援(配食サービス)事業
- (2) 高齢者等生活支援(除雪サービス)事業

8. 公的サービスの利用支援

- (1) 日常生活自立支援事業(まもり一歩)の利用促進
- (2) 生活困窮者自立支援事業の利用促進、連携強化

9. 地域自立生活を促進する経済支援

- (1) 生活福祉資金貸付事業
- (2) 生活安定資金貸付事業

10. 地域福祉事業の推進

- (1) 一人暮らし高齢者訪問事業
- (2) 歳末ふれあいあったか弁当配布事業
- (3) 家族介護者交流事業
- (4) 車イス等貸与事業
- (5) 上寿祝
- (6) 金婚を祝う会
- (7) 罹災家庭援護事業

11. ニーズ対応型コミュニティサービスの支援

- (1) 行政区福祉事業への支援協力(助成金の交付)
- (2) 行政区ミニデイサービスサポート事業
- (3) 介護予防シニア元気塾
- (4) ふれあい・いきいきサロン活動の推進

12. 小地域ネットワーク活動の推進

誰もが安心のサービスを(福祉サービスの適切な利用を促進しよう)

13. 総合相談体制の整備・強化

- (1) 困りごと相談事業

14. サービス標準化の取り組み推進

- (1) サービス標準化のためのサービス水準の確保
- (2) 個別援助計画作成の促進

15. 事故予防、事故後対応等の取り組み推進

- (1) 事故予防、事故後対応等の取り組み推進

16. 苦情処理・解決制度の取り組み推進

17. 個人情報保護の仕組みの確立

18. 人権擁護・虐待防止に関する体制整備

みんなが主役のまちづくり(ボランティア活動を促進しよう)

19. ボランティアセンターの充実

- (1) ボランティア活動・団体への支援
- (2) ボランティア活動への協力
- (3) ボランティアに係る会議・研修会等

20. 総合学習と連携した学習・活動機会の提供

- (1) 学校等教育機関等への情報提供

- (2) 福祉教育協力校の指定
- (3) 福祉体験学習の実施
- (4) 第18回福祉作文・ポスターコンクールの実施

よりよい社協づくりのために(社協発展強化計画)

21. 社協会員制度の加入促進

- (1) 一般会員及び賛助、特別会員の加入促進

22. 災害ボランティアセンター等災害関連事業

- (1) 災害ボランティアセンターの体制整備
- (2) 災害時相互支援協定に基づく連絡調整

23. 在宅福祉事業の実施

- (1) 介護保険事業(介護予防事業等を含む)

- ①訪問介護事業所(ヘルパーステーション)
 - 訪問介護事業・・・介護保険
 - 居宅介護事業・・・障害福祉サービス
 - ア) 中新田ヘルパーステーション
 - イ) 加美町社協ヘルパーステーション
- ②居宅介護支援事業所(ケアサポートセンター)
 - ア) 加美町社協ケアサポートセンター
- ③通所介護事業所(デイサービスセンター)
 - ア) 中新田デイサービスセンター
 - イ) 小野田西部デイサービスセンター
 - ウ) 宮崎デイサービスセンター

- (2) 障害福祉サービス事業

- ①居宅介護事業所(ヘルパーステーション)は、介護保険事業に記載
- ②就労継続支援B型事業所
 - ア) クローバーハウス
- ③多機能型事業所(生活介護、就労継続支援B型事業)
 - ア) やくらいアットハウス
- ④特定相談支援事業所
 - ア) 加美町社協相談支援事業所カミング
- ⑤中新田地域活動支援センター(受託事業)
 - ア) あおぞら

令和2年度事業報告書(附属明細書)

(期間:令和2年4月1日～令和3年3月31日)

社会福祉法人 加美町社会福祉協議会

事業計画に基づき、役職員をはじめ行政、各種関係団体等との連携を図り、地域住民の協力のもと、地域福祉推進のため次のとおり事業を実施しました。

本会運営に関する事業(法人運営事業)

1. 本会運営に関する事業

(1)理事会

月 日	事 業 名	内 容	出席	場 所
6月10日	第1回理事会	事業報告及び決算の承認、補正予算(第1次)、評議員会の招集	理事12名 監事3名	小野田福祉センター
9月30日	第2回理事会	補正予算(第2次)、評議員会の招集	決議省略	
12月17日	第3回理事会	上半期事業報告、指導監査結果報告、会長の職務の執行状況、規程改正、定款変更、補正予算(第3次)、評議員会の招集	理事12名 監事3名	小野田福祉センター
2月10日	第4回理事会	会長の選定、副会長の選定	理事10名 監事3名	中新田福祉センター
3月18日	第5回理事会	会長の職務執行状況、規程改正、役員等賠償責任保険契約の締結、補正予算(第4次)、事業計画及び予算、評議員会の招集	理事9名 監事2名	やくらい文化センター
3月26日	第6回理事会	事務局長の任用	理事8名 監事3名	中新田福祉センター

月 日	事 業 名	内 容	出席	場 所
5月29日	会長・副会長会議	理事会、評議員会の開催について	3名	中新田福祉センター
1月29日	会長・副会長会議	理事会の開催について	3名	中新田福祉センター

(2)監事会

月 日	事 業 名	内 容	出席	場 所
5月27日	第1回監事会	令和元年度分監査	監事3名 会長	中新田福祉センター
11月18日	第2回監事会	令和2年度分上半期事業報告、上半期会計執行状況報告、9月末残高確認	監事3名 会長	中新田福祉センター

(3)評議員会

月 日	事 業 名	内 容	出席	場 所
6月25日	第1回評議員会	事業報告及び決算の承認、補正予算(第1次)	評議員17名 監事3名 会長・副会長2名	宮崎生涯学習センター
10月15日	第2回評議員会	補正予算(第2次)	決議省略	
12月25日	第3回評議員会	上半期事業報告、指導監査結果報告、定款変更、補正予算(第3次)	評議員14名 会長・副会長2名	小野田福祉センター
3月26日	第4回評議員会	補正予算(第4次)、事業計画及び予算	評議員13名 会長・副会長2名	小野田福祉センター

(4)職員会議

毎月、各事業所の代表者等による事業所代表者会議を開催。(内容:管理者研修、安全衛生委員会等)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面会議にした月あり

その他の会議等 事務局職員会議(月1回定例開催)

2. 共同募金運動

月 日	事 業 名	内 容	出席	場 所
5月27日	第1回監事会	監査	3名	中新田福祉センター
6月10日	第1回理事会	事業報告及び決算	理事12名 監事3名	小野田福祉センター
7月30日	市町村共同募金委員会事務局長会議		1名	仙台市
9月28日	第1回配分調査委員会	2年度配分金配分計画審査	5名	中新田福祉センター
10月1日	赤い羽根共同募金運動(～12月31日)(5,480,463円)			町内
11月6日	市町村共同募金委員会巡回訪問(県共同募金会2名来所)		3名	中新田福祉センター
12月1日	歳末たすけあい募金運動(～12月31日)(117,455円)			町内
12月23日	第2回配分調査委員会	歳末たすけあい募金事業配分計画審査	4名	中新田福祉センター
2月10日	第2回理事会	会長選任、副会長選任	理事10名 監事3名	中新田福祉センター
2月22日	市町村共同募金委員会担当者ミーティング		1名	仙台市(加美町からリモート参加)
3月18日	第3回理事会	補正予算、事業計画及び予算	理事9名 監事2名	やくらい文化センター
3月26日	理事選考委員会	理事の選任	13名	小野田福祉センター

3. 各福祉団体への協力、支援

- ①加美町身体障害者福祉協会(3地区)
- ②加美町老人クラブ連合会(3地区)
- ③加美町ボランティア友の会(3地区)
- ④加美町遺族会(3地区)
- ⑤加美町母子福祉会

4. その他の大会、会議等への参加、協力等

会長

- ・市町村社会福祉協議会会長・事務局長会議
- ・加美町中新田B&G海洋センターリニューアルオープン式典
- ・民生委員児童委員推薦会
- ・加美町児童福祉審議会
- ・加美町健康づくり推進協議会
- ・加美町表彰式
- ・加美町障害福祉計画審議会

- ・加美町「町民新年祝賀会」実行委員会
- ・加美町高齢者保健福祉計画審議会

職員

- ・令和2年度社会福祉施設等指導監査
- ・加美町秋まつり実行委員会
- ・加美町障害者自立支援協議会
- ・地域生活支援拠点整備・設置に関する色麻・加美自立協合同会議
- ・市町村社会福祉協議会事務局長会議

みんながわかりあうまちづくり(情報・地域課題を共有しよう)

5. 地域住民の福祉ニーズの把握

(1) 民生委員児童委員との連携強化

地域福祉事業の推進を目的に3地区民協定例会等において連絡調整を行った。

(2) 第2次地域福祉活動計画の評価・検討

第2次地域福祉活動計画の中間評価のため、ワーキングチーム及び事務局職員会議において、計画に対する事業の進捗度(達成度)の分析や課題等の洗い出しを行うとともに、今後の方向性について検討した。

6. 地域福祉に関する総合的な情報提供(広報活動の充実)

(1) 社協だよりの発行

法人の機関紙として「社協だより」の発行を行った。

発行日	号数	部数	内容
5月1日	第82号	8,300	事業計画、当初予算、住民福祉座談会、ふれあい・いきいきサロン登録募集、入浴ステーション廃止、ボラセン通信、資金貸付、コロナ対策、お知らせ、職員募集、他
8月1日	第83号	8,300	事業報告、決算報告、フレイル予防、会員加入のお願い、ボラセン通信、行政区活動紹介、お知らせ、職員募集、他
11月1日	第84号	8,300	家族介護者交流事業、福祉作文・ポスターコンクール、ミニデイサービス・いきいきサロン活動紹介、元会長追悼、除雪サービス、資金貸付、お知らせ、職員募集、他
2月1日	第85号	8,300	事業報告、表彰報告、介護サービス事業所紹介、特別・賛助会費報告、共同募金実績報告、ボラセン通信、資金貸付、お知らせ、職員募集、他

(2) ホームページ活用による情報発信

加美町社会福祉協議会のホームページを随時更新し、お知らせや事業予定などタイムリーな情報の発信を行った。

(3) 行政広報誌への掲載等

加美町広報紙に寄付金の紹介、生活相談所開設等の記事を掲載した。

共に支えあうまちづくり(地域福祉を推進しよう)

7. 基幹的福祉サービス基盤の充実

(1) 高齢者等生活支援(配食サービス)事業

65歳以上の一人暮らし・二人暮らし世帯で、要介護認定を受けている方(要支援以上を含む)、障害者手帳等の交付を受けている方、またはこれらに準ずる方であって、生活支援を必要とする方へ夕食の弁当を宅配した。

毎週月曜日から金曜日に実施

・配食サービス実績

	実施回数	利用者数	配食数	ボランティア延べ人数
中新田地区	243回	41名	5,596食	413名
小野田地区	243回	24名	2,555食	237名
宮崎地区	243回	20名	2,312食	0名
計		85名	10,463食	650名

(2) 高齢者等生活支援(除雪サービス)事業

在宅のおおむね70歳以上の世帯であって、要介護状態等にある登録した世帯に対し除雪費用の助成を行った。実際の除雪作業は加美町シルバー人材センターに委託して行った。

	登録者数	利用者数	利用実績
中新田地区	23名	21名	246回
小野田地区	8名	7名	102回
宮崎地区	5名	4名	73回
計	36名	32名	421回

8. 公的サービスの利用支援

(1) 日常生活自立支援事業(まもり一ふ)の利用促進

日常生活を営むのに支障がある方(知的障害者、精神障害者、認知症高齢者等)に対して福祉サービスの利用援助等に関し、金銭管理等の一連の援助を行った。実施する際は、県社協、行政機関、社会福祉関係者との連携を図りながら行った。

支援内容 ・定期的な訪問による生活変化の見守り
 ・日常生活に必要な預貯金の払い戻し
 ・公共料金の引落としや年金などの受取確認

①利用者数 9名

内訳		知的障害者	精神障害者	認知症高齢者	その他	計
中新田地区		2名	0名	0名	0名	2名
小野田地区		1名	3名	0名	0名	4名
宮崎地区		0名	1名	2名	0名	3名
計		3名	4名	2名	0名	9名

②延べ利用回数 209回

内訳		知的障害者	精神障害者	認知症高齢者	その他	計
中新田地区		75回	0回	0回	0回	75回
小野田地区		5回	57回	0回	0回	62回
宮崎地区		0回	24回	48回	0回	72回
計		80回	81回	48回	0回	209回

(2)生活困窮者自立支援事業の利用促進、連携強化

生活困窮者の自立支援を目的に、宮城県北部自立相談支援センターと随時、連絡調整を行い、生活困窮者自立支援事業の利用促進に努めた。

9. 地域自立生活を促進する経済支援

(1)生活福祉資金貸付事業

高齢者世帯・障害者世帯・低所得世帯に対し低利または無利子での各種資金を貸付する。実施主体は都道府県社協であり、市町村社協が申請窓口となる。資金の種類は、総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金等があり、資金の用途別に貸付される。

①2年度新規貸付件数 125件

内訳		総合支援資金	福祉・教育・小口	不動産担保型 生活資金	要保護世帯向け 不動産担保型生活資金	特例貸付	相談件数
	中新田地区	0件	0件	0件	0件	83件	208件
	小野田地区	0件	0件	0件	0件	30件	97件
	宮崎地区	0件	0件	0件	0件	12件	41件
	小計	0件	0件	0件	0件	125件	346件
	合計	125件					

②3月末現在貸付件数及び貸付金額

ア)福祉・教育・小口資金 15件 (償還残額 6,023,203円)

内訳		前年度末 件数	前年度末 償還残額	新規貸付金額	償還額	償還残額	件数
中新田地区		8件	2,936,121円	0円	221,586円	2,714,535円	7件
小野田地区		6件	3,363,298円	0円	432,080円	2,931,218円	6件
宮崎地区		2件	410,450円	0円	33,000円	377,450円	2件
計		16件	6,709,869円	0円	686,666円	6,023,203円	15件

イ) 離職者支援資金 1件 (償還残額 461,262円)

内訳		前年度末 件数	前年度末 償還残額	新規貸付金額	償還額	償還残額	件数
	中新田地区	1件	461,262円	0円	0円	461,262円	1件

ウ) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金 1件 (貸付残額 1,034,964円)

	件数	貸付限度額	貸付残額
中新田地区	1件	4,911,200円	1,034,964円

エ) 生活復興支援資金貸付 1件 (償還残額 506,047円)

内訳	地区	前年度末 件数	前年度末 償還残額	新規貸付金額	償還額	償還残額	件数
	宮崎地区	1件	566,047円	0円	60,000円	506,047円	1件

オ) 緊急小口資金(特例貸付)

- ・平成23年度東北地方太平洋沖地震関係

35件 (償還残額 3,738,410円)

内訳		前年度末 件数	前年度末 償還残額	新規貸付金額	償還額	償還残額	件数
	中新田地区	29件	3,104,960円	0円	64,960円	3,040,000円	27件
	小野田地区	3件	215,040円	0円	50,040円	165,000円	3件
	宮崎地区	5件	583,410円	0円	50,000円	533,410円	5件
	計	37件	3,903,410円	0円	165,000円	3,738,410円	35件

- ・新型コロナウイルス感染症関係

93件 (償還残額 16,540,000円)

内訳		前年度末 件数	前年度末 償還残額	新規貸付金額	償還額	償還残額	件数
	中新田地区	1件	140,000円	10,900,000円	0円	11,040,000円	62件
	小野田地区	0件	0円	3,700,000円	0円	3,700,000円	22件
	宮崎地区	0件	0円	1,800,000円	0円	1,800,000円	9件
	計	1件	140,000円	16,400,000円	0円	16,540,000円	93件

カ) 総合支援資金(特例貸付)

- ・新型コロナウイルス感染症関係

33件 (償還残額 22,450,000円)

内訳		前年度末 件数	前年度末 償還残額	新規貸付金額	償還額	償還残額	件数
	中新田地区	0件	0円	15,850,000円	0円	15,850,000円	22件
	小野田地区	0件	0円	4,600,000円	0円	4,600,000円	8件
	宮崎地区	0件	0円	2,000,000円	0円	2,000,000円	3件
	計	0件	0円	22,450,000円	0円	22,450,000円	33件

(2) 生活安定資金貸付事業

低所得世帯等に対し、安定した生活が送れるように加美町社協が行う貸付制度。(無利子)

①2年度新規貸付件数 8件（貸付金額 145,000円）

内訳		件数	新規貸付金額	相談件数
	生活安定資金	2件	85,000円	3件
	生活安定資金(緊急特別つなぎ資金)	6件	60,000円	6件
	計	8件	145,000円	9件

②3月末現在貸付件数及び貸付金額 33件（償還残額 996,000円）

内訳		前年度末件数	前年度末償還残額	貸付金額	償還額	償還残額	件数
	生活安定資金	29件	1,051,000円	85,000円	229,000円	907,000円	24件
	生活安定資金(緊急特別つなぎ資金)	13件	124,000円	60,000円	95,000円	89,000円	9件
	計	42件	1,175,000円	145,000円	324,000円	996,000円	33件

10. 地域福祉事業の推進

(1) 一人暮らし高齢者訪問事業

70歳以上の一人暮らし高齢者世帯を対象に、心身の状況や生活実態を把握し、必要かつ適切な支援へとつなげるために、各地区民生委員の協力のもと訪問事業を実施した。（不織布マスク配布）

月 日	事業名	内 容	訪問	場 所
10月～12月	中新田地区一人暮らし高齢者訪問事業	安否確認・生活実態調査等	242名	中新田地区
〃	小野田地区一人暮らし高齢者訪問事業	安否確認・生活実態調査等	100名	小野田地区
〃	宮崎地区一人暮らし高齢者訪問事業	安否確認・生活実態調査等	120名	宮崎地区

(2) 歳末ふれあいあったか弁当配布事業

歳末たすけあい配分金により、町内の70歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、弁当の配布を行った。

月 日	事業名	内 容	配布	場 所
12月15日	中新田地区ふれあいあったか弁当	安否確認を兼ねた弁当配布事業	219名	中新田地区
12月16日	小野田地区ふれあいあったか弁当	安否確認を兼ねた弁当配布事業	95名	小野田地区
12月18日	宮崎地区ふれあいあったか弁当	安否確認を兼ねた弁当配布事業	112名	宮崎地区

(3) 家族介護者交流事業

日頃、在宅において要介護2以上のご家族の介護をしている介護者の集いを開催した。レクリエーションや近況報告などをおして、リフレッシュを図っていただいた。

月 日	事業名	内 容	出席	場 所
9月17日	(中新田地区) 第1回家族介護者交流のつどい	やくらいガーデン散策、他	9名	やくらいガーデン、やくらい薬師の湯
9月25日	(小野田・宮崎地区) 第1回家族介護者交流のつどい	やくらいガーデン散策、他	14名	やくらいガーデン、やくらい薬師の湯
11月17日	(中新田地区) 第2回家族介護者交流のつどい	ピザづくり、りんご狩り	11名	なかにいだアップルふぁ～夢
11月20日	(小野田・宮崎地区) 第2回家族介護者交流のつどい	ピザづくり、りんご狩り	16名	なかにいだアップルふぁ～夢

(4) 車イス等貸与事業

高齢者や障害者、骨折した方などを対象として、通院や旅行、外出など臨時的に必要な車イスの貸与を行った。

内訳		件数
	中新田地区	27件
	小野田地区	4件
	宮崎地区	1件
	計	32件

(5) 上寿祝

満100歳を迎えられた方5名に記念品を贈呈し、上寿を祝った。

(6) 金婚を祝う会

結婚50年を迎えられたご夫婦に記念品を贈呈し、金婚を祝った。(昭和45年入籍者対象:30組60名)

(7) 罹災家庭援護事業

火災に見舞われた世帯に対し、見舞金を支給した。(全焼3万円、半焼2万円)

中新田地区・・・0件

小野田地区・・・1件(全焼1件)

宮崎地区・・・1件(全焼1件)

11. ニーズ対応型コミュニティサービスの支援

(1) 行政区福祉事業への支援協力(助成金の交付)

福祉に関する事業を実施する行政区に対し、申請により事業費の一部を助成し、地域福祉事業の推進を図った。(74行政区／79行政区中)

- ・中新田地区・・・26行政区
- ・小野田地区・・・20行政区
- ・宮崎地区・・・28行政区

(2) 行政区ミニデイサービスサポート事業

行政区が主体となって行うミニデイサービス事業(町補助事業)を側面から支援する事業として実施した。案内状の作成や印刷、レクリエーション物品の貸し出し、献立の作成等を行った。

・行政区ミニデイサポート事業実績

	物品貸出	文書作成	印刷
中新田地区	1件	0件	21件
小野田地区	1件	11件	18件
宮崎地区	1件	9件	20件
計	3件	20件	59件

(3)介護予防シニア元気塾

介護予防の推進を目的に、行政区で行う事業(主にミニデイサービス)等に出向き、レクリエーション等を実施した。

月 日	事 業 名	内 容	出席	場 所
9月15日	平柳ミニデイサービス	軽体操、スカットボール	26名	平柳構造改善センター

(4)ふれあい・いきいきサロン活動の推進

高齢者・障害者・子育て世帯などが、サロンに参加することによって、孤独感の解消や、生きがい(参加意欲)や仲間づくりを進めることを目的に、登録制を実施、助成金の交付を行った。

ふれあい・いきいきサロン事業実績

地区	登録サロン 件数	区 分			助 成 金 額		
		高齢者	障害者	子育て	10,000円未満	15,000円	20,000円
中新田地区	4件	4件	0件	0件	0件	4件	0件
小野田地区	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
宮崎地区	1件	1件	0件	0件	0件	0件	1件
計	5件	5件	0件	0件	0件	4件	1件

12. 小地域ネットワーク活動の推進

小地域ネットワーク活動は小地域(概ね行政区)を単位として、要援護者一人ひとりを対象に、保健・福祉・医療の関係者と住民が協働して進める見守り、援助活動である。主な活動としては、見守り、安否確認、声かけ運動、ちょっとした買い物やごみ出し、掃除や除雪などがあげられる。

行政区内の要援護者世帯(一人・二人暮らし高齢者世帯、障害者世帯等)の除雪を近隣住民による助け合いで取り組む行政区をモデル地区に指定し、助成金の交付を行った。

①モデル地区(行政区)の指定

14行政区

②モデル地区(行政区)による除雪作業

地区名	行政区数	対象世帯	除雪回数				
			12月	1月	2月	3月	計
中新田地区	7行政区	33世帯	217回	151回	101回	0回	469回
小野田地区	3行政区	20世帯	166回	114回	92回	0回	372回
宮崎地区	4行政区	11世帯	56回	65回	39回	0回	160回
合計	14行政区	64世帯	439回	330回	232回	0回	1,001回

1世帯/年あたり5,000円の助成金を交付した。

中新田地区(岡町、下新田上、菜切谷新田、上狼塚北、下多田川、上多田川上、白子田)

小野田地区(西上野目、東鹿原、下野目)

宮崎地区(北永志田、切込、孫沢、鳥屋ヶ崎)

誰もが安心のサービスを(福祉サービスの適切な利用を促進しよう)

13.総合相談体制の整備・強化

(1) 困りごと相談事業

①生活相談所の開設

定例開設 月1回(毎月第3木曜日、中新田公民館1階・第一相談室)

随時相談窓口の開設

相談所開設	加美町生活相談所・・・12日間開設(相談員出席延べ22名)、相談件数4件 随時相談・・・・・・・開設なし					
相談内容	生 計	0件	家 族	0件	老人福祉	0件
	医 療	0件	離 婚	0件	人権・法律	0件
	財 産	0件	職業・生業	1件	住 宅	0件
	健康・衛生	0件	苦 情	0件	結 婚	1件
	事 故	0件	障害福祉	0件	そ の 他	2件

②法律専門相談の開設(年3回弁護士による無料法律相談を実施)

月 日	申込み件数	相談件数	場 所
7月6日	1件	1件	宮崎福祉センター
11月9日	2件	2件	中新田福祉センター
3月10日	1件	1件	中新田福祉センター
計	4件	4件	

③行政書士による無料法務相談(月1回)との連携を図った

・その他会議、研修会等

月 日	事 業 名	出席	場 所
4月3日	生活相談員定例会議(開設日程等)	4名	中新田福祉センター

生活相談所開設日について・・・毎月町広報誌に掲載、社協だよりに掲載

14.サービス標準化の取り組み推進

(1) サービス標準化のためのサービス水準の確保

質の高いサービスを提供し続けるための取り組みとして、各事業所ごとのサービス提供マニュアルを作成しており、随時見直しを行っている。

(2) 個別援助計画作成の促進

利用者一人ひとりの状態に応じた、ケアプランに沿った適切なサービスが提供できるよう、個別援助計画(個別支援計画)を作成した。

15. 事故予防、事故後対応等の取り組み推進

(1) 事故予防、事故後対応等の取り組み推進

①リスクマネジメント体制の構築

福祉サービスにおける事故等のリスクの軽減・回避するための予防的側面と介護事故が生じた場合の事後的対応について、介護サービスにおけるリスクマネジメント体制の整備を図った。

- ・リスク管理委員会の体制整備
- ・ヒヤリ・ハット報告を活用した介護事故の予防及び安全の確保
- ・リスクマネジメントに関する研修会への参加

②リスク管理委員会の開催

月 日	事 業 名	内 容	出席	場 所
8月25日	第1回リスク管理委員会	交通事故発生報告、介護事故の事例検証	15名	中新田デイサービスセンター
2月24日	第2回リスク管理委員会	地震対応、交通事故発生報告、介護事故の事例検証	16名	中新田福祉センター

16. 苦情処理・解決制度の取り組み推進

①苦情処理・解決制度の運用

社会福祉サービスに対する利用者の苦情や意見を幅広く汲み上げ、サービスの改善を図るために、苦情処理体制を整備し、運用した。

- ・事業所内における苦情解決手順の確立
- ・苦情解決のための第三者委員会の体制整備
- ・苦情受付件数 2件

17. 個人情報保護の仕組みの確立

①個人情報保護規程の運用

本会が保有する個人情報の適正な取扱いを確保するため定めた個人情報保護規程に基づき、事業の適正かつ円滑な運営を図りつつ、個人の権利利益を保護するよう運用した。

②特定個人情報取扱規程の運用

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等に則り定めた特定個人情報取扱規程に基づき、本会が扱う個人番号及び特定個人情報等が適切に取り扱われるよう慎重に運用した。

18. 人権擁護・虐待防止に関する体制整備

①責任者の選定及び必要な体制の整備

本会が運営する事業所等において、利用者の人権擁護、虐待防止等のため、虐待防止責任者を選任し、相談窓口として虐待相談担当者を配置した。

みんなが主役のまちづくり(ボランティア活動を促進しよう)

19.ボランティアセンターの充実

(1)ボランティア活動・団体への支援

①ボランティア友の会への支援、助成金交付

・ボランティア助成金交付事業

助成金を交付し、ボランティア友の会の活動を支援した。

加美町中新田ボランティア友の会
加美町小野田ボランティア友の会
加美町宮崎ボランティア友の会

②ボランティアグループへの支援、助成金交付

・グループ活動支援

助成金を交付し、ボランティアグループの活動を支援した。

ほのぼの会、手話サークルたんぽぽ、フットケアサークル癒しの手、
お話おばさん、童話の会

・ボランティア助成金交付事業

助成金を交付し、ボランティア団体の活動を支援した。

加美町食生活改善推進員会

③ボランティア保険窓口業務

宮城県社会福祉協議会が行うボランティア活動保険の加入を推進し、その窓口業務を行った。

	件数	人数
加美町社会福祉協議会	1件	6名
行政区(安全安心パトロール)	30件	361名
個人ボランティア(施設・災害等)	4件	4名
その他団体	6件	452名
計	41件	823名

(2)ボランティア活動への協力

月 日	事業名	内 容	出席	場 所
10月31日	小破修繕ボランティア	中新田建築業組合による中新田地区高齢者世帯への小破修繕活動(8件)	2名	中新田地区

(3)ボランティアに係る会議・研修会等

月 日	事業名	内 容	出席	場 所
8月6日	地域福祉・ボランティア業務担当者会議		1名	仙台市

20.総合学習と連携した学習・活動機会の提供

(1)学校等教育機関等への情報提供

学校のボランティア・福祉教育推進のため、情報提供や各団体等との連絡調整を行った。

(2)福祉教育協力校の指定

町内の8小学校(中新田小・鳴瀬小・広原小・東小野田小・西小野田小・鹿原小・宮崎小・賀美石小)、3中学校(中新田中、小野田中、宮崎中)、7幼保園(中新田幼稚園なかよしこども園、えがおのはなさくみんなのほいくえん、中新田保育所、おのだひがし園、おのだにし園、みやざき園、賀美石幼稚園)を加美町福祉教育協力校に指定の上、助成金を交付し、福祉教育活動を推進した。

(3)福祉体験学習の実施

月 日	事 業 名		出席	場 所
7月17日	鳴瀬小学校総合学習	講師派遣(車イス、白杖体験)・4年生	13名	鳴瀬小学校
7月30日	鳴瀬小学校総合学習	講師派遣(高齢者疑似体験)・4年生	13名	鳴瀬小学校
11月12日	東小野田小学校総合学習	講師派遣(車イス、高齢者疑似体験)・5年生	30名	東小野田小学校
11月16日	中新田小学校総合学習	講師派遣(車イス、白杖、高齢者疑似体験)・5年生	65名	中新田小学校
1月22日	広原小学校総合学習	講師派遣(車イス、高齢者疑似体験)・4年生	23名	広原小学校
2月9日	賀美石小学校総合学習	講師派遣(白杖・高齢者疑似体験)・4年生	21名	賀美石小学校

(4)第18回福祉作文・ポスターコンクールの実施

町内の子供たちを対象に社会福祉に対する関心を深め、福祉の心(おもいやり・たすけあい・ささえあい)の精神と社会連帯意識の高揚を図ることを目的に、第18回福祉作文・ポスターコンクールを実施した。

- ・福祉作文の部・・・・・・最優秀賞2点、優秀賞4点、佳作6点
- ・福祉ポスターの部・・・最優秀賞3点、優秀賞6点、佳作8点

月 日	事 業 名	内 容	出席	場 所
6月	作品募集	町内小中学校に依頼		
10月2日	審査会	審査、入選確定	13名	宮崎福祉センター

よりよい社協づくりのために(社協発展強化計画)

21. 社協会員制度の加入促進

(1)一般会員及び賛助、特別会員の加入促進

区分	会費の基準額	会費の合計額	備考
一般会費	1世帯あたり1,000円	6,818,000円	6,959世帯(減免世帯含む)
賛助会費	1口 3,000円	267,000円	89口(89件)
特別会費	1口 10,000円	1,180,000円	118口(111件)
会費総額		8,265,000円	

22. 災害ボランティアセンター等災害関連事業

(1) 災害ボランティアセンターの体制整備

加美町内を区域とする大規模災害が発生した場合、被災住民のいち早い復興支援と県内外から駆けつけてくる災害ボランティアの活動が円滑、効果的かつ安全に遂行されるよう災害ボランティアセンターを設置することとしている。設置運営要綱を定めるなど災害ボランティアセンターの体制整備を図り備えていたが、令和2年度の開設はなかった。

＊災害ボランティアセンタースタッフ用ビブス100着購入。

(2) 災害時相互支援協定に基づく連絡調整

① 災害時相互支援協定に基づく連絡会議等

宮城県内の35市町村社会福祉協議会及び宮城県社会福祉協議会との間に結んだ災害時相互支援協定に基づき、災害時の迅速かつ効果的な支援体制の確立を図るため、災害支援連絡会議等を設け、随時、連絡調整を行った。

月 日	事業名	内 容	出席	場 所
6月11日	災害時相互支援協定に基づく県社協と市町村との情報伝達訓練		—	中新田福祉センター
6月24日	災害時相互支援協定に基づく連絡担当者会議		1名	仙台市
8月6日	災害時相互支援協定に基づく大崎圏域ブロック市町村社協連絡担当者会議		1名	色麻町
9月9日	災害時相互支援協定に基づく県社協と市町村との情報伝達訓練		—	中新田福祉センター

23. 在宅福祉事業の実施

(1) 介護保険事業(介護予防事業等を含む)

① 訪問介護事業所(ヘルパーステーション)

訪問介護事業・・・介護保険

要介護・要支援世帯の在宅での生活を支援するため、訪問介護員(ホームヘルパー)を派遣し、生活援助や身体介護等のサービスを提供した。

生活援助・・・内容は、調理・洗濯・掃除・買い物・相談等

身体介護・・・内容は、食事介助・排せつ介助・衣類脱着介助・入浴介助・清拭等

身体・生活・・・内容は、身体介護と生活援助の折衷型

居宅介護事業・・・障害福祉サービス

家事援助・・・内容は、調理・洗濯・掃除・買い物・相談等

身体介護・・・内容は、食事介助・排泄介助・衣類着脱介助・入浴介助・清拭等

重度訪問介護・・・内容は、日常生活全般に常時の支援を要する重度の肢体不自由の方に対する身体介護、家事援助、見守り等の支援及び外出時における移動中の介護が比較的長時間にわたり、断続的に提供されるような支援

ア) 中新田ヘルパーステーション

介護保険事業

延べ利用登録者数 38名(要介護者数 32名、事業対象者数 6名)

生活援助	調理、洗濯、掃除、 買い物、相談等	延訪問回数	1,223回	
		延時間	1,070時間	
身体介護	食事介助、排せつ 介助、衣類脱着介 助、入浴介助、清 拭等	延訪問回数	2,158回	
		延時間	1,177時間	
身体生活	生活援助 + 身体介護	延訪問回数	492回	
		延時間	492時間	
総合事業	要支援者と介護予 防や生活支援を必 要とする高齢者へ の訪問介護	延訪問回数	279回	
		延時間	261時間	
計		延訪問回数	4,152回	(前年比94.2%)
		延時間	3,000時間	(前年比92.2%)

障害福祉サービス事業

延べ利用登録者数 10名(居宅介護 8名、重度訪問介護 2名)

家事援助	調理、洗濯、掃除、 買い物、相談等	延訪問回数	315回	
		延時間	305時間	
身体介護	食事介助、排せつ 介助、衣類脱着介 助、入浴介助、清 拭等	延訪問回数	786回	
		延時間	878時間	
重度訪問介護	重度の肢体不自由 の方に対する身体 介護、家事援助、 見守り等	延訪問回数	616回	
		延時間	445時間	
計		延訪問回数	1,717回	(前年比100.8%)
		延時間	1,628時間	(前年比94.9%)

イ) 加美町社協ヘルパーステーション

介護保険事業

延べ利用登録者数 31名(要介護者数 30名、事業対象者数 1名)

生活援助	調理、洗濯、掃除、 買い物、相談等	延訪問回数	1,384回	
		延時間	1,278時間	
身体介護	食事介助、排せつ 介助、衣類脱着介 助、入浴介助、清 拭等	延訪問回数	1,694回	
		延時間	910時間	
身体生活	生活援助 + 身体介護	延訪問回数	359回	
		延時間	376時間	
総合事業	要支援者と介護予 防や生活支援を必 要とする高齢者へ の訪問介護	延訪問回数	38回	
		延時間	38時間	
計		延訪問回数	3,475回	(前年比68.9%)
		延時間	2,602時間	(前年比77.0%)

障害福祉サービス事業

延べ利用登録者数 6名(居宅介護 6名)

家事援助	調理、洗濯、掃除、 買い物、相談等	延訪問回数	365回	
		延時間	365時間	
身体介護	食事介助、排せつ 介助、衣類着脱介 助、入浴介助、清 拭等	延訪問回数	254回	
		延時間	137時間	
計		延訪問回数	619回	(前年比98.4%)
		延時間	502時間	(前年比93.5%)

②居宅介護支援事業所(ケアサポートセンター)

在宅で介護保険制度における居宅サービスを利用するための介護サービス計画(ケアプラン)を作成し、要介護者やその家族の生活を支援した。

ア)加美町社協ケアサポートセンター

介護支援専門員数 7名

延べ利用登録者数 317名(要介護者数 297名、要支援者数 18名、総合事業者数 2名)

介護サービス計画(ケアプラン)作成実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
総合事業	2件	0件	0件	0件	0件	0件	
要支援1・2	15件	18件	17件	17件	16件	17件	
要介護1	65件	64件	68件	70件	70件	67件	
要介護2	82件	83件	79件	81件	84件	81件	
要介護3	44件	46件	43件	43件	49件	45件	
要介護4	24件	22件	25件	26件	22件	24件	
要介護5	10件	11件	10件	9件	10件	9件	
計	242件	244件	242件	246件	251件	243件	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合事業	0件	0件	0件	0件	0件	0件	2件
要支援1・2	17件	18件	18件	18件	18件	16件	205件
要介護1	70件	69件	68件	69件	70件	66件	816件
要介護2	81件	79件	78件	75件	74件	75件	952件
要介護3	49件	52件	49件	50件	49件	48件	567件
要介護4	23件	22件	22件	21件	25件	25件	281件
要介護5	9件	9件	10件	10件	8件	11件	116件
計	249件	249件	245件	243件	244件	241件	2,939件

(前年比100.5%)

・要介護認定調査実績(加美町からの受託事業)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
調査数	8件	2件	14件	11件	7件	8件	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
調査数	4件	1件	5件	18件	19件	31件	128件

(前年比67.4%)

③通所介護事業所(デイサービスセンター)

デイサービスセンターに通所し、利用者にあわせた介護を提供し、家族の介護負担の軽減や利用者の自立を支援するサービスを行った。サービス内容は、送迎、健康チェック、入浴、食事、おやつ、機能訓練、レクリエーションなど。月曜日から土曜日開設。

ア) 中新田デイサービスセンター

開設日数	311日
延利用者数	7,472名(1日あたり24.0名)
延べ利用登録者数	69名(要介護者数 65名、要支援者数 4名)

実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
要支援1・2	16名	16名	12名	11名	8名	9名	
要介護1	67名	69名	70名	70名	76名	81名	
要介護2	169名	168名	183名	207名	155名	183名	
要介護3	221名	197名	196名	208名	237名	230名	
要介護4	128名	107名	101名	105名	97名	116名	
要介護5	40名	57名	55名	59名	56名	56名	
計	641名	614名	617名	660名	629名	675名	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1・2	14名	16名	18名	15名	10名	9名	154名
要介護1	90名	87名	91名	86名	85名	85名	957名
要介護2	203名	174名	180名	150名	162名	186名	2,120名
要介護3	236名	210名	210名	181名	181名	201名	2,508名
要介護4	119名	87名	86名	56名	63名	71名	1,136名
要介護5	59名	66名	62名	30名	28名	29名	597名
計	721名	640名	647名	518名	529名	581名	7,472名

(前年比96.9%)

イ) 小野田西部デイサービスセンター

開設日数	307日
延利用者数	5,228名(1日あたり17.0名)
延べ利用登録者数	58名(要介護者数 57名、要支援者数 1名)

実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
要支援1・2	0名	0名	0名	0名	0名	0名	
要介護1	84名	78名	71名	84名	79名	82名	
要介護2	229名	191名	184名	199名	205名	201名	
要介護3	161名	182名	168名	184名	168名	152名	
要介護4	12名	7名	7名	6名	5名	4名	
要介護5	3名	8名	9名	11名	14名	14名	
計	489名	466名	439名	484名	471名	453名	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1・2	7名	7名	0名	2名	4名	3名	23名
要介護1	83名	63名	60名	54名	63名	70名	871名
要介護2	199名	160名	167名	162名	146名	133名	2,176名
要介護3	165名	156名	176名	144名	134名	140名	1,930名
要介護4	4名	5名	5名	13名	12名	24名	104名
要介護5	16名	13名	11名	10名	10名	5名	124名
計	474名	404名	419名	385名	369名	375名	5,228名

(前年比88.5%)

ウ)宮崎デイサービスセンター

開設日数

311日

延利用者数

6,060名(1日あたり19.5名)

延べ利用登録者数

79名(要介護者数 78名、要支援者数 1名)

実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
要支援1・2	0名	0名	0名	0名	0名	0名	
要介護1	134名	119名	141名	139名	125名	130名	
要介護2	180名	198名	193名	197名	165名	176名	
要介護3	132名	141名	133名	149名	159名	176名	
要介護4	33名	49名	44名	57名	51名	32名	
要介護5	7名	6名	6名	10名	7名	18名	
計	486名	513名	517名	552名	507名	532名	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1・2	0名	0名	0名	0名	0名	3名	3名
要介護1	126名	114名	120名	114名	119名	161名	1,542名
要介護2	175名	170名	177名	153名	152名	169名	2,105名
要介護3	171名	154名	120名	115名	126名	154名	1,730名
要介護4	63名	48名	43名	25名	35名	15名	495名
要介護5	24名	21名	24名	20名	19名	23名	185名
計	559名	507名	484名	427名	451名	525名	6,060名

(前年比81.1%)

(2)障害福祉サービス事業

①居宅介護事業所(ヘルパーステーション)は、介護保険事業に記載

②就労継続支援B型事業所

ア)クローバーハウス

就労継続支援B型事業は、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者総合支援法に基づき、就労の機会を提供するとともに、生産活動やその他の活動の機会の提供を通じて、その知識及びその能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行う。

実績 (延べ利用登録者数 20名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開設日数	21日	18日	22日	21日	20日	20日	
実利用者数	20名	19名	19名	19名	19名	19名	
延べ利用者数	394名	330名	412名	393名	350名	371名	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	22日	19日	20日	19日	18日	23日	243日
実利用者数	19名	19名	19名	19名	19名	19名	
延べ利用者数	408名	354名	372名	350名	333名	415名	4,482名

具体的な事業内容

(前年比103.3%)

①就労継続支援B型計画の作成

②相談援助

③就労の機会や生産活動の提供

ダンボールの仕切・組立

リサイクル収益事業

手洗い洗車収益事業

木工品等の加工販売

農作物販売事業

養蚕関連事業への試験的な取り組み

④就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練

・地域交流事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域交流事業への参加は自粛した。

・その他行事等

買物体験、調理実習、クリスマス会等を実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため3B体操教室は中止した。

・工賃平均額

一人当たりの月額の工賃平均額(賞与含む)

6,364 円

・体験学習生等の受け入れ

月 日	内 容	受入人数及び依頼元
10月12日～16日	古川支援学校職場体験	古川支援学校生徒1名(1年生)
10月19日～23日	古川支援学校職場体験	古川支援学校生徒1名(2年生)
10月26日～30日	古川支援学校職場体験	古川支援学校生徒1名(3年生)
11月11日	施設利用希望者施設見学	加美町相談支援センターらいと加美・3名
11月25日	施設利用希望者施設見学	大崎市就労移行支援事業所アビリティーズジャスコ・3名
3月5日	進路ガイダンス	古川支援学校職員、生徒・7名

※2月より日中一時支援事業にて利用者1名受入(週3日)

③多機能型事業所(生活介護、就労継続支援B型事業)

就労継続支援B型事業は、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者総合支援法に基づき、就労の機会を提供するとともに、生産活動やその他の活動の機会の提供を通じて、その知識及びその能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行う。

生活介護の事業は、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者総合支援法に基づき、入浴、排せつ及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行う。

ア) やくらいアットハウス

実績

就労継続支援B型事業 (延べ利用登録者数 3名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開設日数	21日	18日	22日	21日	20日	20日	
実利用者数	3名	3名	3名	3名	3名	3名	
延べ利用者数	48名	51名	58名	55名	53名	56名	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	22日	19日	20日	19日	17日	23日	242日
実利用者数	3名	3名	3名	3名	3名	3名	
延べ利用者数	60名	53名	45名	52名	44名	60名	635名

生活介護事業 (延べ利用登録者数 5名)

(前年比121.0%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開設日数	21日	18日	22日	21日	20日	20日	
実利用者数	5名	5名	5名	5名	5名	5名	
延べ利用者数	87名	87名	106名	98名	96名	99名	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	22日	19日	20日	19日	17日	23日	242日
実利用者数	5名	5名	5名	5名	5名	5名	
延べ利用者数	109名	94名	96名	84名	85名	109名	1,150名

(前年比113.3%)

・具体的な事業内容

- ①就労継続支援B型計画の作成
- ②相談援助
- ③就労の機会や生産活動の提供、創作的活動
リサイクル収益事業、手洗い洗車収益事業、授産品販売事業
- ④就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練
- ⑤生活介護計画の作成
- ⑥食事・入浴又は清拭・排せつ等の介護
- ⑦身体機能及び日常生活能力の維持向上のための支援
- ⑧送迎サービス
- ⑨健康管理

・地域交流事業

月 日	事業名	内 容	出席	場 所
8月7日	読み聞かせ	ボランティアによる絵本の読み聞かせ	7名	やくらいアットハウス
10月9日	読み聞かせ	ボランティアによる絵本の読み聞かせ	8名	やくらいアットハウス

・その他行事等

買物体験、調理実習、プール体験、季節に応じたレクリエーションなどを実施した。

・工賃平均額(就労継続支援B型事業)

一人当たりの月額の工賃平均額(賞与含む) 3,349円

・体験学習生等の受け入れ

月 日	内 容	受入人数及び依頼元
4月3日～17日	日中一時支援	1名
9月14日、15日	古川支援学校現場実習	1名・古川支援学校
10月12日～16日	古川支援学校現場実習	1名・古川支援学校

・実地指導

月 日	事業名	内 容	出席	場 所
11月24日	指定障害福祉サービス事業者等実地指導		2名	やくらいアットハウス

④特定相談支援事業所

ア)加美町社協相談支援事業所カミング

障害者の心身の状況、その置かれている環境等を勘案し、利用するサービスの内容等を定めたサービス等利用計画を作成し、障害者やその家族の生活を支援した。

相談支援専門員 1名

延べ利用登録者数 55名

サービス等利用計画及びモニタリング報告書作成実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実利用者数	48名	48名	48名	48名	48名	48名
計画数	12件	1件	2件	2件	1件	1件
モニタリング数	10件	11件	10件	9件	8件	19件
一般相談件数	29件	15件	13件	16件	19件	16件

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	48名	48名	49名	53名	55名	55名	
計画数	2件	3件	2件	4件	7件	8件	45件
モニタリング数	3件	8件	7件	4件	6件	9件	104件
一般相談件数	20件	40件	54件	62件	33件	30件	347件

(前年比 計画数 145.2%, モニタリング数 114.3%, 一般相談件数 2313.3%)

⑤中新田地域活動支援センター(受託事業)

ア)あおぞら

三障害(身体・知的・精神)を対象とし、地域において自立した日常生活及び社会生活ができるよう支援を行う。

事業内容 創作的活動又は生産活動
日常生活における基本的な行動の指導
集団生活への適応訓練

実績 (延べ利用登録者数 7名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開設日数	21日	18日	22日	21日	18日	20日	
実利用者数	6名	6名	6名	7名	6名	6名	
延べ利用者数	92名	79名	101名	93名	80名	90名	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	22日	19日	20日	19日	18日	23日	241日
実利用者数	6名	6名	6名	6名	6名	6名	
延べ利用者数	95名	84名	77名	75名	68名	103名	1,037名

・工賃平均額

(前年比102.5%)

一人当たりの月額の工賃平均額(賞与含む) 2,450円

・行事等

新型コロナウイルス感染症対策のため、主に施設内での作品作りとサロン活動を行った。